



5月の採用薬品（常備薬品）

パルモディア錠0.1mg 高脂血症治療剤 興和株式会社

【効】高脂血症（家族性を含む）
 【用】通常、成人にはペマフィブラートとして1回0.1mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大用量は1回0.2mgを1日2回までとする。
 【副】添付文書参照



リンデロン錠0.5mg 合成副腎皮質ホルモン剤 塩野義製薬

【効】 【用】 【副】 添付文書参照



リンデロン注4mg 合成副腎皮質ホルモン剤 塩野義製薬

【効】 【用】 【副】 添付文書参照



スミルスチック3% 経皮吸収型鎮痛・消炎剤 三笠製薬

【効】 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
 変形性関節症、筋・筋膜性腰痛症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
 【用】 症状により、適量を1日数回患部に塗擦する。
 【副】 添付文書参照



ウログラフィン注60% 直接睪管胆道・逆行性尿路・関節・唾液腺造影剤 バイエル薬品

【効】 逆行性尿路撮影、内視鏡的逆行性睪胆管撮影、経皮経肝胆道撮影、関節撮影
 【用】 【副】 添付文書参照



5月の採用薬品（用時購入薬品）

ネस्प注射液180μgプラシリンジ 持続型赤血球造血刺激因子製剤 協和発酵キリン

【効】 腎性貧血
 骨髄異形成症候群に伴う貧血
 【用】 【副】 添付文書参照



5月の採用薬品（特定個人薬品）

スクラルファート顆粒90%「トーフ」 消化性潰瘍治療剤 東和薬品

【効】 1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍
 2. 下記の疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期
 【用】 通常成人1回1～1.2gずつ1日3回経口投与する。症状により適宜増減する。
 【副】 添付文書参照



イベニティ皮下注10.5mgシリンジ ヒト化抗スクレロステチンモノクローナル抗体製剤 アステラス製薬

【効】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症
 【用】 通常、成人にはロモソズマブ（遺伝子組換え）として210mgを1カ月に1回、12カ月皮下投与する。
 【副】 添付文書参照



イニシク配合錠 2型糖尿病治療剤 武田薬品工業

【効】 2型糖尿病：
 ただし、アログリプチン安息香酸塩及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。
 【用】 通常、成人には1日1回1錠（アログリプチン/メトホルミン塩酸塩として25mg/500mg）を食直前又は食後に経口投与する。
 【副】 添付文書参照



シュアポスト錠0.5mg 速効型インスリン分泌促進剤 大日本住友製薬

【効】 2型糖尿病
 【用】 通常、成人にはレパグリニドとして1回0.25mgより開始し、1日3回毎食直前に経口投与する。維持用量は通常1回0.25～0.5mgで、必要に応じて適宜増減する。なお、1回量を1mgまで増量することができる。
 【副】 添付文書参照





5月の採用薬品（特定個人薬品）の続き

アミオダロン塩酸塩速崩錠50mg「TE」

不整脈治療剤 トーアエイヨー

院外専用薬品としても採用

【効】生命に危険のある下記の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合：

心室細動、心室性頻拍

心不全（低心機能）又は肥大型心筋症に伴う心房細動

【用】導入期：

通常、成人にはアミオダロン塩酸塩として1日400mgを1～2回に分けて1～2週間経口投与する。

維持期：

通常、成人にはアミオダロン塩酸塩として1日200mgを1～2回に分けて経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



ラコールNF配合経腸用半固形剤

経腸栄養剤 イーエヌ大塚製薬

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【用】通常、成人標準量として1日1、200～2、000g（1、200～2、000kcal）を胃瘻より胃内に1日数回に分けて投与する。投与時間は100g当たり2～3分（300g当たり6～9分）とし、1回の最大投与量は600gとする。

また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。

【副】添付文書参照



5月の削除薬品

デカドロン錠0.5mg、スチックゼノールA40g、アンカロン錠100mg、5%ブドウ糖注100mL、エストラサイト156.7mg、ネスブ注射液40μg、サリベートエアゾール、ミニリンメルトOD錠120μg、リスモダンカプセル100mg



5月の採用薬品（院外専用薬品）

クラシエEK-43六君子湯エキス細粒2.0g/包

漢方製剤 クラシエ製薬

【効】【用】【副】添付文書参照

ジェニナック錠200mg

キノロン系経口抗菌剤 アステラス製薬

【効】【用】【副】添付文書参照

プロセキソール錠0.5mg

卵胞ホルモン剤 あすか製薬

【効】【用】【副】添付文書参照

ロキソプロフェンナトリウムテープ50mg「タイハウ」

経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤 大鵬薬品工業

【効】【用】【副】添付文書参照



5月の後発医薬品への変更

セロクエル25mg錠 → クエチアピン錠25mg「AA」
 ノルバスク錠2.5mg → アムロジピンOD錠2.5mg「トーフ」
 ダラシンTゲル1% → クリンダマイシンリン酸エステルゲル1%「サワイ」
 パントシン散20% → パンテチン散20%「武田テバ」
 2mgセルシン錠 → ジアゼパム錠2「トーフ」
 ベンザリン錠5 → ニトラゼパム錠5mg「武田テバ」
 アレロック錠5 → ロパタジン塩酸塩OD錠5mg「MEEK」
 グルファスト錠5mg → ミチグリニドCa・OD錠5mg「TCK」
 メイラックス錠1mg → ロフラゼブ酸エチル錠1mg「トーフ」

5月の院外専用薬品への変更薬一覧

アカルディカプセル2.5、オキシブチニン塩酸塩錠3mg「サワイ」、カルベジロール錠1.25mg「サワイ」、キュバル100エアゾール、コルヒチン錠0.5mg「タカタ」、ザファテック錠100mg、タンボコール錠50mg、チクロピジン塩酸塩錠100mg「トーフ」、トレドミン錠25mg、ノルspanテープ5mg、パントシン錠30、プロトピック軟膏0.1%、ユニフィルLA錠400mg